

復命書

明治三十七年五月第三軍司令官タルノ

大命ヲ拝シ、旅順要塞ノ攻略ニ任ジ、六月剣山ヲ抜キ、七月敵ノ逆襲ヲ擊退シ、次デ其前進陣地ヲ攻陷シ、鳳凰山及于大山ノ線ニ進ミ、以テ敵ヲ本防禦線内ニ圧迫シ、我海軍ノ有力ナル協同動作ト相須チテ、旅順要塞ノ攻囮ヲ確実ニセリ。八月大孤山及高崎山等ヲ陥ル。次デ強襲ヲ行ヒ東西盤龍山ノ二塁ヲ奪ヒ、爾後正攻ヲ以テ攻撃ヲ繞行シ、逐次要塞ニ肉迫シ、十一月下旬ヨリ十二月上旬ニ亘リ二百三高地ヲ力攻シテ遂ニ之ヲ奪取シ、港内ニ蟄伏セル敵艦ヲ擊沈セリ。既ニシテ攻撃作業ノ進捗ニ伴ヒ、其正面ノ三永久堡塁ヲ占領シ、直チニ望台附近一帶ノ高地ニ進出シ、將ニ要塞内部ニ突入セントスルニ当リ、三十八年一月一日敵將降ヲ請ヒ、茲ニ攻城作戦ノ終局ヲ告ゲタリ。時ニ北方ニ於ケル彼我両軍ノ主力ハ沙河附近ニ相対シ、戰機正ニ熟シ、軍ノ北進ヲ待ツコト急ナリ。因テ一月中旬行進ヲ起シ、二月下旬遼陽平野ニ集中シ、直チニ運動ヲ開始シテ奉天附近ノ会戦ニ参与シ、全軍ノ最左翼ニ在リテ繞回運動ヲ行ヒ、逐次敵ノ右翼ヲ擊破シ、奉天西北方ニ邁進シテ其退路ニ逼リ連戦十余日、尚敵ヲ追蹤シテ心台子、石仏寺ノ線ニ達シ、一部ヲ進メテ昌団及金家屯附近ヲ占領セシメタリ。

五月各軍ト相連リテ金家屯、康平ノ線ヲ占メ、尋デ敵騎大集團我ガ左側背ニ來襲セシモ之ヲ驅逐シ、茲ニ軍隊ノ整備ヲ畢リ、戰機ノ熟スルヲ待チシガ、九月中旬休戦ノ命ヲ拝スルニ至レリ。之ヲ要スルニ本軍ノ作戦目的ヲ達スルヲ得タルハ

陛下ノ御稜威ト上級統帥部ノ指導並ニ友軍ノ協力トニ頼ル。

而シテ作戦十六箇月間我將卒ノ常ニ勁敵ト健闘シ、忠勇義烈死ヲ視ルコト帰スルガ如ク、弾ニ斃レ劍ニ殞ルルモノ皆

陛下ノ萬歳ヲ喚呼シ、欣然トシテ瞑目シタルハ臣之ヲ伏奏セザラント欲スルモ能ハズ。然ルニ斯クノ如キ忠勇ノ將卒ヲ以テシテ、旅順ノ攻城ニハ半歲ノ長月日ヲ要シ、多大ノ犠牲ヲ供シ、奉天附近ノ会戦ニハ、攻擊力ノ欠乏ニ因リ退路遮断ノ任務ヲ全ウスルニ至ラズ、又敵騎大集團ノ我ガ左側背ニ行動スルニ當リ、此ヲ擊摧スルノ好機ヲ獲ザリシハ、臣ガ終生ノ遺憾ニシテ、恐懼措ク能ハザル所ナリ

今ヤ闕下ニ凱旋シ、戰況ヲ伏奏スルノ寵遇ヲ担ヒ、恭シク部下將卒ト共ニ 天恩ノ優渥ナルヲ拝シ、顧ミテ戰死病没者ニ此光榮ヲ分ツ能ハザルヲ傷ム。茲ニ作戦經過概要、死傷一覽表並ニ給与及衛生一般等ヲ具シ、謹シテ復命ス。

明治三十九年一月十四日

第三軍司令官 男爵 乃木希典

凱旋

皇師百萬征強虜

こうしひやくまんきょうりょ
やせんこうじょうかばねやま せい

野戰攻城屍作山

やせんこうじょうかばねやま な
かえ

愧我何顏看父老

はいわこんにちいくにん
われなん かんばせ
ふろう まみ

凱歌今日幾人還

がいかこんにちいくにん
かえ